

令和7年3月5日

お客様及び取引各社の皆様

株式会社 ECODA
代表取締役 平間 一也

産経新聞記事に関するお詫びと今後の対応について

令和7年3月3日に産経新聞電子版に掲載されました当社に関する記事につきまして、お客様および取引先の皆様にご不信・ご不安を抱かせてしまいましたこと、深くお詫び申し上げます。

1. 事案の経緯

当社が広告画像を作成する際、生成 AI を用いて人物像を作成いたしました。その結果、著名人に類似した画像が生成されましたが、社内での確認を経ずに使用してしまいました。そのため、広告媒体様より注意を受け、アカウントの一時停止措置が講じられました。当該広告の使用期間は令和7年2月6日から17日までの12日間となります。

2. 当社の対応

本件が発覚次第、当該画像の使用を即時停止し、適切な対応を実施いたしました。また、他の広告についても同様の問題がないか確認し、必要な対応を行っております。

3. 再発防止策

今回の事案は、広告チェック体制が不十分であったこと、および広告に関するスタッフの知識不足が原因で発生したものと認識しております。

今後、以下の再発防止策を徹底いたします。

- 広告審査体制の強化：広告審査を二重チェック体制とし、より厳格な確認プロセスを導入します。
- 外部専門機関との連携強化：広告管理を委託している株式会社アドコミに対し、自社広告も含めた全件チェックを依頼し、適正な運用を図ります。
- 社内教育の充実：広告に関する社内研修を実施し、コンプライアンス意識の向上に努めます。

最後に、本件によりご迷惑をおかけした皆様へ、改めて深くお詫び申し上げます。

敬具